

地域社会との密接な連携を築こう

～コミュニティスクールと小中合築に向けた地域との連携～

蒲郡市立西浦中学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は蒲郡市の西部に位置し、三方を海に囲まれた西浦半島を中心とする西浦町にある中学校である。特別支援学級2学級を含めて8学級、全校生徒数136名の小規模校である。西浦学区は小中学校がそれぞれ1校ずつの学区であり、9年間を小さなコミュニティの中で生活している。また、地域とのつながりが非常に強い学区である。本校は数年後、現在の小学校の位置に、小学校・中学校・公民館の施設が一つの建物に合築される予定である。

2 研究のねらい

本校は、校訓「愛と耐」のもと、あたたかさたくましさのある西中生の育成に努めている。本校は本年度から蒲郡市内で最初のコミュニティスクールとなった。また、前述したように、数年後には小学校・公民館との合築も控えており、小中の連携や地域とのつながりをさらに深める必要がある。このためには、小学校や地域と密接に関係しているP T Aが、その連携を強めるためのはたらきができるのではないかと考えた。このような視点でP T A活動をどのように進めるのかを考えていきたい。

3 研究の仮説

P T Aが、小中学校の行事や地域が参加する活動に主体的に参加する機会を計画的に設定し、学校と連携して活動していけば、学校・地域・保護者との密接な関係を築き、地域の中で健やかに成長する子どもの育成に寄与することができるであろう。

4 研究の方法

P T Aの3つの部（事業部・補導部・教養部）それぞれが中心となり、行事や活動を企画・運営していく。

4 研究の実践

（1）資源回収〔事業部〕

本校では、年に2回資源回収を行っている。近隣の学校では資源用のコンテナを設置している学校も多い。しかし、本校では、生徒が地域に出て活動することで、生徒の地域に対する思いを深めるとともに、地域からたよりにされる西中生の姿を見せたいと考え、生徒とP T Aによる資源回収を実施している。

例年、1回目の資源回収は5月の最終土曜日に、午前中の授業参観の後、午後から行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のために1回目の資源回収は中止にした。しかし、P T Aの発案により、授業参観で来校した時に資源を持ってきていただくよう呼びかけることにした。呼びかけに応じ多くの保護者が資源を持ってきてくださった。このように、コロナ禍の中でも工夫をして活動をすることができた。



(2) 見守り隊〔補導部〕

本校では、部活動の夏の大会を控えた5・6月の部活終了後の下校時に、生徒の下校の様子を見守っていただく「見守り隊」を実施しており、PTA会員に各家庭1回ずつお願いしている。令和4年度は5月31日から6月22日のうちの8日間、110名の方が参加して下さった。「友だち同士楽しく帰宅する姿が、懐かしく感じました」「あいさつをおとなしい声で返してくれる。思春期を感じました」との感想が得られた。普段はなかなか見ることがない下校の様子を見たり、あいさつをしたりすることで、学校生活の一部を見ることができた。



(3) 小中合同学校保健集会〔本部役員〕

令和3年度から、小中合同で代表児童生徒による学校保健委員会を行っており、グループでディスカッションを行っている。小中それぞれのPTA役員も参加し、子ども達と同じ内容でグループディスカッションを行った。本年度のテーマは、「メディア機器の安全な使用について」であり、「子ども」「大人」のそれぞれの立場でグループディスカッションをした。ディスカッション後は子ども達のグループと同じように全体の前で発表し、大人が子ども達に願うメディアの使い方を伝えることができた。



(4) PTA教養講座〔補導部〕

【「西浦の日」体験講座（西浦学区コミュニティースクールの行事）と共同開催】

西浦学区のコミュニティースクールとしてのメインの行事が「西浦の日」体験講座である。これは、西浦在住・出身など、西浦に関わりのある方に講師になっていただいて体験講座を行うもので、昨年度に引き続き、PTAの教養講座もこの体験講座の一講座として実施した。本年度も「革細工に挑戦！」を行い、生徒10名・保護者9名が参加し、革のパスケースを制作した。

5 研究の考察

各部の活動を通して、保護者が学校と地域とつなぎながら、学校の様々な支援を行うことができた。また、保護者や学校の意見を聞き、アイデアを出して活動につなげていくことにより、生徒達にとってよりよい支援を行うことができた。また、地域も学校の様子をよく知ることができたと思われる。

6 成果と今後の課題

コミュニティースクールの開始や小中学校・公民館の合築に向けて、地域と学校がより密接に関わっていかねばならない。しかし、地域の方が直接学校の行事等に参加することはまだまだ多くない。地域の住民でもあるPTAが、活動を通して地域と学校をつなげることは意味がある。

今後は、小中合築に向けて、組織やPTA活動のあり方・活動内容をどのようにしていくべきか、検討していきたい。